

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保護者等デイサービス事業所 BLUE PLAYS		
○保護者評価実施期間	令和6年12月10日		令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和6年12月3日		令和6年12月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫されていること	<ul style="list-style-type: none"> 各活動が5領域におけるどの分野に該当するかを意識して活動プログラムを実施している。 毎週末にその週の活動の振り返りを行い、同時に翌週のプログラムについて打ち合わせを行っている。プログラム内容だけでなく、事業所全体の改善点等についても話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修等を通じた知識や支援技術等の向上
2	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていること	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な『面談希望調査』を実施し、希望があれば面談を実施している。 対面だけでなく、『HUG成長療育支援システム』を活用してメールでの相談にも応じている。 面談で話した内容について、保護者の同意を得た上で相談支援専門員に情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の内容に加えて、ZOOMによる面談の実施も検討する。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていること	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時に職員から保護者に対してその日の児童の様子等を伝えている。 その他、確認・連絡事項がある場合には『HUG成長療育支援システム』の保護者連絡や電話等でできる限り密に情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の内容の継続

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> 求人を出しているものの、応募者がいないこと 	<ul style="list-style-type: none"> 求人票を会社HPで公開する。 求人情報をSNSで拡散する。
2	外部連携全般(地域住民)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民等との交流の機会を作れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは、社長や管理者が繋がりを持っている法人や人物に対して施設訪問や交流を打診する。
3	非常時の対応に関する認知度が低い	<ul style="list-style-type: none"> 家具の転倒防止策等など必要な課題はあるが訓練自体は実施している。情報開示・伝え方なども弱く、正しく理解されていない部分も大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練等の実施について、定期的な情報共有、実施回数増加など情報伝達に努める必要がある。